

九州自然歩道フォーラム 設立趣意書

九州自然歩道は、1980年、東海自然歩道に次いで整備されたナショナル・ロングトレイルです。総延長は約3,000kmで、「西海」「雲仙天草」「阿蘇くじゅう」「霧島錦江湾」の各国立公園の他、4つの国定公園、30カ所の県立自然公園を経由します。

九州自然歩道の最大の魅力は、九州7県を循環しているということ。起点・終点は福岡県北九州市の皿倉山ですが、最南端の佐多岬を経由して九州を一周しているので、どの場所からスタートとしても、その地に帰ってくるすることができます。

手軽なハイキングコースから本格的な山岳地帯があり、自由度を心地良く刺激する九州自然歩道では、歩くことでしか見られない素晴らしい景色やドラマに出会えます。

世界に類を見ない活火山の霧島連山、日本最大級の照葉樹林が残る綾、迫力あるパノラマが楽しめる阿蘇、飯田高原に広がる銀色のススキ、紅葉と樹氷に彩られるくじゅう…。さらには、砂丘の風紋が美しい吹上浜、穏やかな海岸線と多島海の天草、荒波に削られた坊津のリアス式海岸など、海にまつわる自然景観も見逃せません。

また、畑や果樹園、田んぼが続くのどかな里山、潮風が気持ちいい漁村、異国情緒漂う小さな教会、歩くことでしかたどり着けない秘湯など、九州ならではのバラエティーに富んだ魅力も体感できます。

ただ残念なことに、九州自然歩道の整備から30年が経過し、管理の不備や施設の老朽化、利用情報の不足により、魅力の低下や利用者数の低迷を招いています。また、一部に通行困難な箇所があるのが現状です。

私たち「九州自然歩道フォーラム」は、九州の豊かな自然、歴史、文化、人をつなぐ、ナショナル・ロングトレイルの実現を目指して、設立する個人及び団体のネットワークです。

歩くことで地域の自然と人とふれあい、その土地を愛すること。そこに暮らす人々も故郷の魅力を再認識すること。共に自然への思いを深め、人と人が支えあう「絆」のトレイル。そんなトレイルを目指して、地域・ボランティア・関係団体・行政の密接な連携により、基本指針に沿って九州自然歩道の再生に取り組みます。

トレッカーの冒険心をそそり、夢を与えるナショナル・ロングトレイルを九州から始めます。

「九州自然歩道再生にあたっての基本指針」

＜ロングトレイルの在り方＞

- ◇ ロングトレイルの基本は、一本のシンプルな線である
- ◇ 全県を繋ぐネックレスとして、九州一帯のシンボルとする
- ◇ 多様な利用者のニーズにこたえるトレイルとする
- ◇ 人と人が支えあう、「絆」のトレイルとする
- ◇ 地域・ボランティア・関係団体・行政との緊密な連携のもとにトレイルづくりを行なう
- ◇ それぞれの地域・自治体は、個性は出しても必ず全体像を意識する

＜ロングトレイルの目的＞

- ◇ 豊かな自然や歴史文化を地元の方が再認識し、故郷への誇りを持ってもらうことを意識する
- ◇ 生物多様性を基盤とし、保護と利用の両面から管理するシンボリック的存在とする

＜整備、維持管理、活用＞

- ◇ 歩く人のドラマ性や夢物語を意識した整備を行なう
- ◇ 維持管理活動は、国・県・市町村・関係団体の協働で行う
- ◇ 利用促進にあたっては、地域・ボランティア・関係団体・行政の協働で行う
- ◇ 環境への影響を把握するため、定期的、持続的に環境調査を協働で行う

呼びかけ人 加藤則芳
山口久臣
野元尚巳
新村史明
志賀壮史
税田裕子
成崎 聡
岡野隆宏